

中核市発 持続可能な社会を創造する「地域共創人」の育成

研究開発の背景

- ・「県立学校魅力化ビジョン(平成31年2月県教委策定)」により「島根大学や地域との連携を強化して地域課題解決型学習による実践的な学びを実施するとともに、多様な選択教科を開設できる単位制普通高校として、Society5.0で生き抜く力を養成する教育を展開する」学校となることを求められている。
- ・人口減少問題を抱える本県（松江市）では、地域の将来を担う人材の育成が重要な課題となっており、教育に大きな期待を寄せられている。
- ・本校及び地域が抱える課題を克服するためには、地域課題解決等の探究的な学びを行う「社会に開かれた教育課程」の編成が不可欠である。

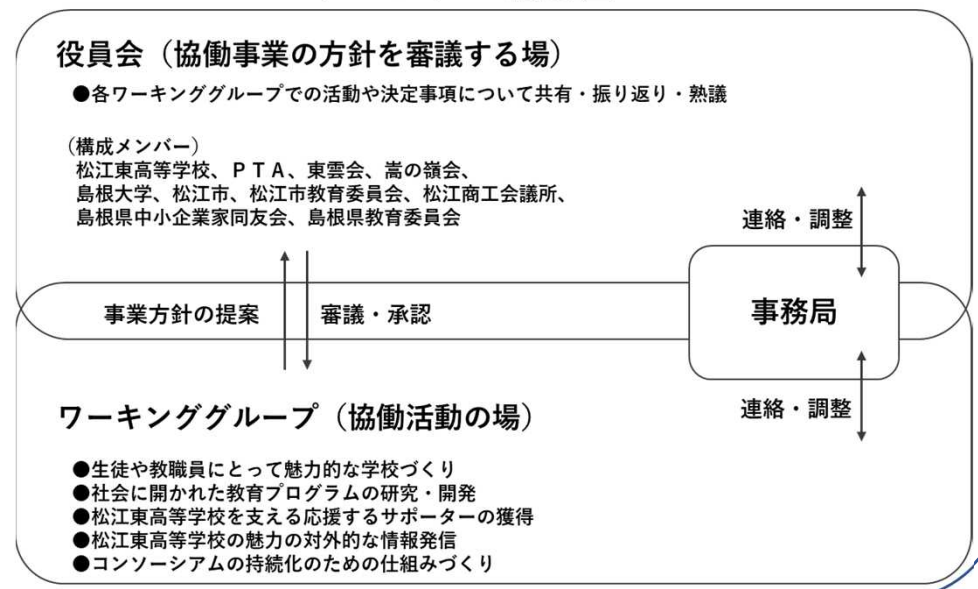
コンソーシアムの構成等研究開発の実施体制

コンソーシアム体制図



- ・ 探究的な学びを実現し、魅力化を図るために新たな分掌「魅力化推進部」を設置
- ・ 校長の下で研究開発の進捗管理を行い、定期的な確認や成果の検証・評価等を通じ、計画・方法を改善していく「校内連絡会」を実施

コンソーシアム概念図



令和元年度の目標及び取組状況,成果

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）	2018年度		2019年度	
	3年次に「自分の住んでいる地域や島根県で起こっている問題や出来事に関心がある」と答える生徒の割合			
今年度の実績				77.9
過年度の実績及び目標値	58.4		65	
3年次に「自分の住んでいる地域や島根県をよくするために何をすべきか考えることがある」と答える生徒の割合				
今年度の実績				69.2
過年度の実績及び目標値	35.7		40	
3年次に「将来、島根県で働きたいと思う」と答える生徒の割合				
今年度の実績				69.7
過年度の実績及び目標値	50.5		55	
高大連携のパイロットモデル校に指定されている島根大学の学びに魅力を感じている生徒の割合				
今年度の実績				50.0
過年度の実績及び目標値	-		50	

2. 地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）	2018年度		2019年度	
	県内外の教育機関等に公開する授業研究等の回数			
今年度の実績				7
過年度の実績及び目標値	0		5	
県内外の教育機関等に取り組みを紹介するための研究発表会の回数				
今年度の実績				3
過年度の実績及び目標値	0		1	
県内外の教育機関等に取り組みを紹介するために学校のホームページを更新する回数				
今年度の実績				40
過年度の実績及び目標値	0		25	

3. 地域人材を育成する地域としての活動指標（アウトプット）	2018年度		2019年度	
	「研究開発ワーキンググループ」のミーティング等の活動回数			
今年度の実績				32
過年度の実績及び目標値	0		10	

課題

- ・ 探究学習において、生徒自身がより「自分事」として主体的に取り組み、学習意欲の向上と発展につながる仕組みをつくる必要がある。
- ・ 教職員間において「地域と協働した探究的な学び」の必要性を、より一層浸透させていく必要がある。